

年度評価シート

課名 中山間地振興課

施設の名称 静岡市賤機都市山村交流センター	指定管理者名 賤機都市山村交流センター運営委員会
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務 管理業務を実施し、植栽、除草、清掃等について職員にて実施するとともに、空調設備点検業務等について第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。</p> <p>(2) 施設利用者数 令和2年度の利用者数は21,968人で前年度の67,879人と比較して32.4%と大幅に減少した。これはコロナウイルス感染症対策による利用制限や近隣6学区の敬老会が中止となったことが大きく影響したものと考えられる。</p> <p>(3) 事業実施状況 積極的なコロナウイルス感染症対策を実施しながらも、施設の設置目的である、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図るために、各種講座、イベント、パネル展示等を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策としては、4、5月の休館や子供の遊具の一部使用禁止、館内での飲食禁止、バルーンバレーや卓球の休止、飲食系の講座の一部休止、音楽系のサークル活動の利用休止、イベントの中止や縮小・分散開催等を実施した。 ・交流講座においては、人気のある「里山のばあばの味シリーズ」等の飲食関係については作るのみとして出来たものは持ち帰ってもらうなどし、コロナウイルス感染症対策を講じながらも多くの講座を実施した。 ・イベントについては、密集が生じる大規模イベントは実施できないため、縮小・分散して複数日にて実施するなど、創意工夫して実施した。 ・ロビーにて各種展示を実施しており、中でもアサギマダラの写真展は静岡新聞に取り上げられた。 	
<p>2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応 等)</p> <p>利用者からの意見・要望があった場合は、可能な限り迅速に対応している。</p> <p>アンケート結果、要望等については、定例の運営委員会開催時に報告を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会室でのバルーンバレーや卓球の再開を望む意見が複数あったが感染症対策の旨を説明して理解を得られた。 ・講座受講者からのアンケートや要望を基にの実施や、アンケートを基に「シフォンケーキ作り」、「木の時計作り」等、新たな講座を実施するなどした。 	

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

「良い」、「やや良い」との回答が、「施設・設備・備品等の充実」については98.9%、「従業員の態度」については99.5%と、利用者から高い評価を受けており、良好な施設運営が継続して行われていることが分かる。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、感染症対策の影響により光熱水費や講座費が減少となり、空気清浄機等、備品購入費が増加となったが、概ね予算どおりの執行となった。

経理全般に関しては税理士事務所と提携しており、また、経理事務に関して新たにソフトを導入するなど改善を図り、適正な経理が行われている。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

オクシズ地域の玄関口に立地していることを意識した施設運営を行っており、オクシズの各地区と連携して、観光情報、イベント情報などを積極的に収集、発信するとともに、ロビーの展示コーナーを活用して「安倍川流域の花と風景」「アサギマダラ写真展」などを実施してオクシズの魅力を紹介している。

講座については、人気講座を継続して実施しつつ新規講座も複数行い、イベントについても創意工夫のうえで実施し、施設の設置目的である都市住民と中山間地域住民の交流促進に努めており、施設運営は適切に行われたと考える。

今後も、オクシズの各地区と連携した運営により、施設の設置目的である都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図られることを望む。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。